

# 平成26年度 部局長マネジメント方針

かわち としゆき  
健康部長 河内 俊之



## 仕事に対する基本姿勢

健康部は、市民の皆様の健康を維持、促進するための非常に市民に密着したセクションであります。私は、この平成26年4月より、健康部長を拝命し、あらためて市民の皆様の視点から市民サービスとは何かを考え、この部の運営にあたりたいと考えております。

健康部の各事業は非常に多岐にわたっており、乳幼児の健診、市民の健康相談から、食の安全、薬事、各種施設の衛生監視さらに、斎場の管理まで幅広く市民の皆様の生活に密着しています。まだ、着任し間も無いことから、まずは、前任者の重点課題を引き継ぎながらも、私なりの新しい視点で、限られた資源の中で、市民の皆様がより満足を得られるような健康部の事業運営に努めてまいります。

## 平成26年度に取り組む重点課題

### 1 医療機関の適切な利用について

市民の皆様が必要な医療を必要な時に適切に受けることができるよう、日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていただくことや、急な病気やケガでどうしてよいのか迷ったときに相談できる#7119（救急安心センターおおさか）の活用について、市政だよりやウェブサイトなどによる啓発の充実に加え、医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携を進めることで、一層の周知と理解を深めていただけるよう啓発に努めてまいります。

### 2 地域の医療機関の連携を図り、医療体制の確保につとめる

全国的に小児科医師が不足しており、東大阪市、八尾市及び柏原市からなる中河内医療圏におきましても小児科医療の確保が困難な状況であります。本市では、八尾市、柏原市と連携するとともに、医療機関や医師会等の協力による小児救急医療の体制を

引き続き確保してまいります。

### 3 健康づくりの推進

- ・市民の健康増進計画「健康トライ21（第2次）計画」に基づき、健康づくりを目的に活動している市民グループや関係団体等と連携・協働し、糖尿病や高血圧、脳血管疾患、心筋梗塞などの生活習慣病の予防等、市民の健康づくりを一層進めていきます。加えて、平成25年度に策定した歯科口腔保健計画に基づき、健康づくり教室において口腔ケアの大切さについて広く周知、啓発します。
- ・保健師、精神保健福祉相談員、栄養士などの専門職の特性を生かし、健康に悩みや不安を抱える市民に対して家庭訪問をする等、よりきめ細かな支援を行ないます。
- ・心の健康づくりは、現代社会には重要な健康課題と捉え、心の病気や自殺予防についての正しい理解を促し、福祉・医療など関係機関との連携を強化して適切な相談機関・医療機関につなぎ、早期発見、早期治療及び社会復帰のための相談支援体制を充実させます。
- ・がん検診対策については肺がん検診を保健センターでの集団検診に加え、医療機関の協力を得て、個別検診を実施します。  
また、平成26年度は、新たながん検診の対象となる市民に個別にクーポン券を送ることや、過去にクーポン券を送付したが未受診であった方に、再度受診を促す「がん検診受診勧奨事業」を実施するとともに、受診しやすい環境の整備を進めることにより受診率の向上をめざします。

### 4 市営斎場施設整備の推進

既存斎場の老朽化が進むなか、増加が見込まれる火葬需要に応じた施設整備が必要なことから、庁内に検討組織を立ち上げ、新斎場の建設も視野に斎場の整備推進に取り組んでまいります。